

Information

01

子どもたちの市への思いを調査 まちづくりに関する中学生アンケート

市政への市民参加の推進

本市では登米市総合計画の基本理念に、市の持続的な発展を可能とするため、市民と行政の協働によるまちづくりを掲げています。

この「中学生アンケート調査」は、将来の登米市を担う中学生のまちづくりに関する考えや意見を、市全体のまちづくりや各地区の地域づくりの参考とするため、初めて実施しました。

同時に、本市の中学生が、このアンケート調査に取り組むことを通し、①登米市の魅力や課題を再発見すること、②地域を愛する心を養うこと、③まちづくりに対する関心を高め、地域での事業参画の起因となること、④社会の形成者として「自分は社会の一員である」という意識をもつことを目的に実施しました。

市内中学校の全面的な協力を得て、対象者1924人に対し回答数1842人、回答率95.7%という非常に高い回答率となりました。

中学生ならではの新鮮で、率直な意見や提案がたくさん集まり、今後の新しい施策や事業、取り組みを企画していく上で、大変参考になる内容となっております。

市では、アンケート調査の結果を、地域づくりを担う市内コミュニティ組織や市職員の研修会、コミュニティ・スクールの推進する中学校において活用していく予定です。

【令和3年度調査対象】登米市立中学校全生徒、計1924人（4月1日現在）

【調査期間】6月1～18日

【結果報告書】

▼全10中学校集計版

▼学校別集計版10校分

※アンケート調査結果の詳細は、次のQRコードを読み込むか、市公式ホームページトップページの下端にある「登米市の取り組みピックアップ」の「登米市協働のまちづくり」から確認ください



※市公式ホームページ「中学生の声」

【問い合わせ】まちづくり推進部市民協働課（市民活動支援係）
☎0220(22)2173



監査委員に 千葉良悦さんが再任

令和3年第2回登米市議会定例会9月定期議会が開かれ、監査委員の選任について同意されました。委員には、千葉良悦さん（米山町）が再任。任期は令和7年10月13日まで。

03 Information

全国学力・学習状況調査の結果概要 ～家庭学習の時間差が浮き彫りに～

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るために、文部科学省では平成19年度から全国学力・学習状況調査を実施しています。（令和2年度未実施）

市教育委員会では、令和元年度からその調査結果と分析および今後の改善方針を公表しています。

令和3年度調査概要

【調査対象】
▼市内小学校の6年生／22校 616人
▼市内中学校の3年生／10校 601人

調査事項

①教科に関する調査

▼小学校Ⅱ国語・算数

▼中学校Ⅱ国語・数学

②児童生徒質問紙調査Ⅱ学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する調査

調査結果

教科に関する調査結果、児童生徒質問紙調査に関する調査結果は、表のとおり。
中でも児童生徒質問紙調査

令和3年
5月27日現在

教科に関する調査結果 — 各教科の平均正答率(%)と正答数(問) —

小学校6年生					中学校3年生					
教科名	国語 (14問)		算数 (16問)		教科名	国語 (14問)		数学 (16問)		
	平均値	正答率	正答数	正答率	正答数	平均値	正答率	正答数	正答率	正答数
登米市	63	8.8	64	10.2	登米市	61	8.6	49	7.9	
宮城県	62 (63)	8.8 (8.9)	66 (68)	10.5 (10.9)	宮城県	63 (65)	8.8 (9.1)	52 (55)	8.3 (8.9)	
全国	65	9.1	70	11.2	全国	65	9.0	57	9.1	

※県の数値にある()については、仙台市を含めた数値

【小学校の結果】
・国語の正答率＝全国平均より2割下回っている
・算数の正答率＝全国平均より6割下回っている

【中学校の結果】
・国語の正答率＝全国平均より4割下回っている
・数学の正答率＝全国平均より8割下回っている

小・中学校共通・領域別分析と課題

【国語】
・「漢字」や「文法知識」は、正答率が全国平均より高い
・「自分の考え」を書く設問では、全国平均よりも低く、無回答も多い

【算数・数学】
・図形問題、「グラフの読み取り」「データの値を活用して考える」の設問が全国平均に比べて低い

児童生徒質問紙調査 — 調査項目「学校の授業以外の学習時間」の比較(%) —

時間数	小学校6年生						中学校3年生					
	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分以下	全くしない
登米市	4.4	11.2	46.4	28.6	7.3	2.1	3.2	18.0	45.4	22.6	7.7	3.2
宮城県	6.3	14.5	41.2	26.6	8.3	3.1	8.7	27.0	37.2	16.1	6.8	4.0
全国	11.8	15.3	35.6	24.5	9.5	3.5	12.3	29.5	34.1	14.1	6.4	3.5

果となりました。全体的に、全国・県と比べ、家庭での勉強時間に差があることが浮き彫りとなりました。

普段の「ゲームをする時間」については、小・中学校とも最も多い回答は「1時間以上2時間以内」で全国・県とほぼ同じ割合となっています。

「学校に行くのは楽しい」と「当てはまる」と言う質問では「当てはまる」と回答した割合が、小学校で89.8%、中学校で86.7%となり、全国よりも小学校で6.4割、中学校で5.6割上回りました。

今後の改善方針

今後、各学校ごとに分析結果を算出します。具体的な改善方針としては、「授業の中」「家庭学習」「それ以外の場面」に分類し、市総合計画の基本政策「教育の充実」に掲げる、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育に関する施策展開を目指します。

令和2年度に策定した、授業づくりの指針「登米市学習スタンダード」の活用を進め、市内の全教員が同一歩調で学力向上に向けた取り組みを推進します。ICT活用については、情報モラルの指導とともに、個別に適した活用を目指し、授業での活用を進めていきます。

【問い合わせ】教育委員会教育部活き生き学校支援室（支援係）
☎0220(34)2546

Information

02

市内施設の 指定管理者を募集

公の施設を管理運営する、指定管理者（団体を募集します。個人は応募できません）。

【募集申請期限】11月19日（金）午後5時まで

【募集要項・申請書】指定管理者を募集する施設の担当部署で配布します。募集・申請に関する詳細は、問い合わせください。

【選定方法】市の「公の施設指定管理者選定委員会」で、書類およびヒアリング審査を実施し、各施設の管理運営に最も適した団体を候補者に選定します。その後、市議会での承認を受け、指定管理者に指定します。

指定管理者を募集する施設

公の施設の名称	指定期間(予定)
①登米市米山体育館	【登米市米山体育館】 令和4年4月1日 ～令和6年3月31日
②登米市吉田運動場	【登米市吉田運動場、登米市中津山運動場】 令和4年4月1日 ～令和9年3月31日
③登米市中津山運動場	



登米市米山体育館



登米市吉田運動場



登米市中津山運動場

【問い合わせ】教育委員会教育部生涯学習課（スポーツ振興係）
☎0220(34)2698